

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2017年2月4日～2017年2月10日の推移】

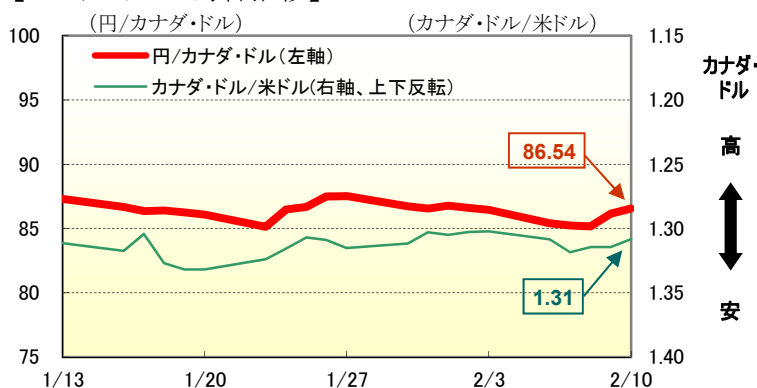
【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場はおおむね横ばいとなった一方、カナダ5年国債利回りは低下しました。

週前半はフランス大統領選挙に対する先行き不透明感から、市場のリスク回避姿勢が強まったことで、金利は低下し、カナダ・ドル円相場は下落しました。しかし週後半にかけては、米国のトランプ政権による大型減税への期待が高まったことで、市場のリスク選好度が強まり、金利は上昇し、カナダ・ドル円相場も上昇しました。

カナダの貿易収支は市場予想を上回る黒字幅となり、雇用者数も堅調な結果となったことで、金利の上昇およびカナダ・ドル円相場の上昇材料となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年1月13日～2017年2月10日)



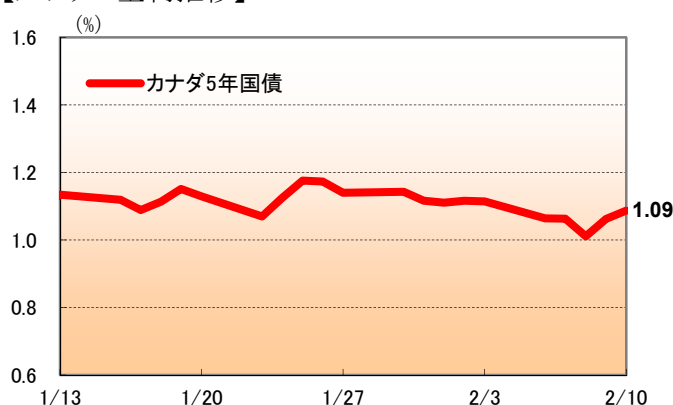
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、イエレンFRB(米国連邦準備制度理事会)議長の議会証言やトランプ大統領の政策動向など、米国の材料に左右されやすい展開を見込みます。今後の利上げに対する積極的な姿勢が見られれば、金利上昇や円安の要因になると考えられます。

日米首脳会談では通商および為替について特段の問題が出なかったことで、円相場には安心感が強まるとみられています。また、米加首脳会談後の市場の動向にも注目です。

【カナダ 金利推移】 (2017年1月13日～2017年2月10日)



【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ
2/7	毎月	2016年12月	貿易収支(実額)	9.2億カナダ・ドル
2/10	毎月	2017年1月	雇用者数(前月差)	48.3千人

(参考)前回
10.1億カナダ・ドル
46.1千人

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>